



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 野村不動産ホールディングス株式会社  
 コード番号 3231 URL <http://www.nomura-re-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中井 加明三  
 (氏名) 石川 陽一郎

TEL 03-3348-8117

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	261,790	7.5	30,120	56.1	19,068	159.5	13,666	—
23年3月期第3四半期	243,539	△11.8	19,289	△37.6	7,349	△63.6	△7,395	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 17,423百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △4,469百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	71.77	71.69
23年3月期第3四半期	△38.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,428,409	370,149	21.8
23年3月期	1,474,331	357,365	20.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 311,291百万円 23年3月期 304,536百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
24年3月期	—	12.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	438,000	△8.9	48,000	14.1	32,000	22.4	15,000	174.1	78.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	190,442,200 株	23年3月期	190,387,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,016 株	23年3月期	924 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	190,411,262 株	23年3月期3Q	190,350,778 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、TDnetで平成24年1月31日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	6
2. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	13
(5) セグメント情報等 .....	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における当社グループの経営成績は、売上高は261,790百万円（前年同四半期比18,251百万円、7.5%増）、営業利益は30,120百万円（同10,830百万円、56.1%増）、経常利益は19,068百万円（同11,719百万円、159.5%増）、四半期純利益は13,666百万円（前年同四半期は四半期純損失7,395百万円）となりました。

なお、法人税率の引下げによる繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩しに伴い、当第3四半期の四半期純利益は5,105百万円増加しております。

セグメントごとの業績の概要は、以下のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高、振替高を含みます。また、端数処理の関係で合計数値があわない場合があります。

#### <住宅事業セグメント>

住宅分譲部門においては、マンション分譲では「プラウド市谷仲之町ヒルトップ」（東京都新宿区）、「プラウド志村坂上パサージュ」（東京都板橋区）、「プラウド夙川名次町」（兵庫県西宮市）等を、戸建分譲では「プラウドシーズンひばりヶ丘 緑景の街」（東京都西東京市）等を売上に計上いたしました。また、当第3四半期末における期末完成在庫数は107戸（前連結会計年度末比6戸減）、契約済未計上残高は5,045戸（前年同四半期末比453戸増）となっており、販売状況は順調に推移しております。

この結果、当セグメントの売上高は120,628百万円（前年同四半期比23,651百万円、24.4%増）、営業利益は7,785百万円（前年同四半期は営業損失1,082百万円）となりました。前第3四半期と比べ、増収増益となっておりますが、これは主に、住宅分譲部門において、計上戸数が増加したこと、及び利益率が改善したこと等によるものであります。

なお、共同事業における戸数、売上高、契約残高については事業シェア按分で計算しております。

#### 売上高等内訳

		前第3四半期		当第3四半期		前連結会計年度	
		販売数量等	売上高 (百万円)	販売数量等	売上高 (百万円)	販売数量等	売上高 (百万円)
住宅分譲	首都圏	計上戸数 1,025戸	53,214	計上戸数 1,219戸	68,910	計上戸数 3,543戸	189,365
	関西圏	計上戸数 275戸	10,529	計上戸数 247戸	11,433	計上戸数 953戸	36,081
	その他	計上戸数 228戸	6,988	計上戸数 220戸	7,851	計上戸数 581戸	20,534
	小計	計上戸数 1,528戸	70,731	計上戸数 1,687戸	88,195	計上戸数 5,077戸	245,981
	(うち戸建住宅)	(計上戸数 314戸)	(16,746)	(計上戸数 340戸)	(20,693)	(計上戸数 580戸)	(31,877)
住宅管理		期末管理戸数 123,740戸	16,715	期末管理戸数 129,041戸	16,724	期末管理戸数 127,567戸	23,623
その他			9,528		15,708		16,530
合計			96,976		120,628		286,135

## 住宅分譲 期末完成在庫数

	前第3四半期末	当第3四半期末	前連結会計年度末
首都圏	141戸	102戸	69戸
関西圏	41戸	5戸	12戸
その他	34戸	－	32戸
合計	217戸	107戸	113戸
(うち戸建住宅)	(－)	(－)	(－)

## 住宅分譲 契約済未計上残高

	前第3四半期末		当第3四半期末		前連結会計年度末	
	戸数	契約残高 (百万円)	戸数	契約残高 (百万円)	戸数	契約残高 (百万円)
首都圏	3,542戸	195,159	3,954戸	204,514	1,880戸	101,708
関西圏	676戸	25,978	518戸	25,478	197戸	9,574
その他	373戸	14,243	573戸	20,357	161戸	5,191
合計	4,592戸	235,381	5,045戸	250,350	2,238戸	116,475
(うち戸建住宅)	(332戸)	(19,748)	(332戸)	(18,661)	(121戸)	(8,030)

## &lt;ビル事業セグメント&gt;

ビル事業部門においては、依然として厳しい事業環境が続く中、テナントニーズに適応した営業活動に努めてまいりました。これにより当第3四半期末の空室率については2.9%となっており、前連結会計年度末から1.1ポイント改善しております。また、平成22年9月に竣工した「日本橋室町野村ビル」（東京都中央区）、及び持分の追加取得を行った「東芝ビルディング」（東京都港区）の収益が通期で寄与しております。

この結果、当セグメントの売上高は77,071百万円（前年同四半期比6,438百万円、9.1%増）、営業利益は19,563百万円（同2,691百万円、16.0%増）となりました。

## 売上高内訳

	前第3四半期（百万円）	当第3四半期（百万円）	前連結会計年度（百万円）
オフィス（自社所有）	26,592	30,157	36,843
オフィス（サブリース）	5,802	3,444	7,035
商業施設	5,466	5,248	7,209
運営管理・施設管理	18,344	20,403	24,725
その他	14,426	17,817	24,574
合計	70,632	77,071	100,389

賃貸床面積

	前第3四半期末	当第3四半期末	前連結会計年度末
オフィス（自社所有）	629,548㎡	632,794㎡	633,423㎡
オフィス（サブリース）	92,903㎡	57,611㎡	69,093㎡
商業施設	85,857㎡	85,759㎡	85,857㎡
合計	808,308㎡	776,165㎡	788,374㎡

空室率（オフィス・商業施設）

前第3四半期末	当第3四半期末	前連結会計年度末
4.1%	2.9%	4.0%

<資産運用開発事業セグメント>

収益不動産開発部門においては、開発事業の推進と商品の売却促進に取り組んでまいりました。また、中小規模でありながら大規模ビルと同等の高いクオリティを具備したオフィスビルの開発事業「プレミアム ミッドサイズ オフィス（PMO）」のブランド展開を積極的に図り、当第3四半期においては「PMO八丁堀」（東京都中央区）及び「PMO東日本橋」（東京都中央区）を売上に計上しております。

資産運用部門においては、当社グループが運用しております各種ファンドの安定的な運用に注力してまいりました。また、平成23年10月1日付で、物件情報収集力の拡充、投資機会の拡大及びマネジメント力の向上等を図るため、グループ内の資産運用会社3社の統合を行っております。これに伴い、存続会社である野村不動産投信(株)は野村不動産投資顧問(株)に商号を変更しております。

この結果、当セグメントの売上高は36,949百万円（前年同四半期比△9,563百万円、20.6%減）、営業利益は3,781百万円（同△1,615百万円、29.9%減）となりました。前第3四半期と比べ、減収減益となっておりますが、これは主に、収益不動産開発部門において商品の売却が減少したこと、及びたな卸資産評価損を売上原価に計上したこと等によるものであります。

売上高内訳

	前第3四半期（百万円）	当第3四半期（百万円）	前連結会計年度（百万円）
収益不動産開発	36,722	26,613	42,774
資産運用	9,791	10,336	13,272
合計	46,513	36,949	56,046

資産運用部門 運用資産残高

	前第3四半期末（百万円）	当第3四半期末（百万円）	前連結会計年度末（百万円）
REIT	567,728	580,953	567,253
私募ファンド等	563,863	562,704	559,348
合計	1,131,591	1,143,657	1,126,601

<仲介・販売受託事業セグメント>

売買仲介部門においては、インターネット媒体の充実を図るとともに提案型営業を積極的に推進してまいりました。また、リテール部門の更なる強化を図るために、地域に密着した積極的な店舗展開を実施し、平成23年4月に「府中センター」（東京都府中市）及び「東戸塚センター」（神奈川県横浜市戸塚区）を、また、大阪エリアの新たな営業拠点として平成23年8月に「江坂センター」（大阪府吹田市）を出店いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は26,796百万円（前年同四半期比4,688百万円、21.2%増）、営業利益は1,593百万円（同222百万円、16.2%増）となりました。前第3四半期と比べ、増収増益となっておりますが、これは主に、商品不動産の一部について他セグメントに移管をしたこと、及び売買仲介部門における取扱高が増加したこと等によるものであります。

売上高内訳

	前第3四半期（百万円）	当第3四半期（百万円）	前連結会計年度（百万円）
売買仲介	11,050	11,798	15,658
販売受託	657	866	1,611
商品不動産販売	8,072	5,646	8,700
その他	2,327	8,485	2,985
合計	22,108	26,796	28,955

<その他の事業セグメント>

フィットネスクラブ事業部門においては、各種キャンペーンやイベントを実施し、新規入会者の獲得及び会員定着率の向上に努めてまいりました。また、平成23年9月に「メガロス葛飾店」（東京都葛飾区）を、平成23年12月に「メガロス上永谷店」（神奈川県横浜市港南区）をオープンいたしました。

この結果、当セグメントの売上高は12,007百万円（前年同四半期比△993百万円、7.6%減）、営業利益は131百万円（同15百万円、13.6%増）となりました。

売上高内訳

	前第3四半期（百万円）	当第3四半期（百万円）	前連結会計年度（百万円）
フィットネスクラブ	10,533	10,375	13,927
その他	2,468	1,632	7,040
合計	13,001	12,007	20,967

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

	前連結会計年度末 (百万円)	当第3四半期末 (百万円)	増減 (百万円)	増減 (%)
総資産	1,474,331	1,428,409	△45,921	△3.1
総負債	1,116,965	1,058,259	△58,705	△5.3
純資産	357,365	370,149	12,783	3.6
自己資本比率	20.7%	21.8%	—	—

総資産は1,428,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ、45,921百万円減少いたしました。これは主に、有価証券(30,000百万円減)、及び現金及び預金(15,645百万円減)が減少したこと等によるものであります。

総負債は1,058,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ、58,705百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金(20,816百万円減)、長期借入金(12,486百万円減)、固定負債の繰延税金負債(10,793百万円減)及びコマーシャル・ペーパー(10,000百万円減)が減少したこと等によるものであります。

純資産は370,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ、12,783百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金(8,905百万円増)が増加したこと等によるものであります。

なお、自己資本比率については、21.8%(前連結会計年度末比1.1ポイント増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は36,420百万円となり、前連結会計年度末と比べ、45,645百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、24,794百万円(前年同四半期比42,569百万円増)の資金の減少となりました。これは主に、仕入債務が減少したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1,358百万円(同50,084百万円増)の資金の増加となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出があった一方で、有形及び無形固定資産の売却による収入及び敷金及び保証金の回収による収入があったこと等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、22,209百万円(同89,800百万円減)の資金の減少となりました。これは主に、コマーシャル・ペーパーの償還、短期借入金の返済、及び配当金の支払い等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に公表しました連結業績予想の変更はありません。



2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,067	36,422
受取手形及び売掛金	14,270	10,439
有価証券	30,000	—
販売用不動産	210,565	159,025
仕掛販売用不動産	122,780	216,155
開発用不動産	99,759	70,738
営業エクイティ投資	60,948	58,188
繰延税金資産	21,197	19,402
その他	25,423	37,273
貸倒引当金	△88	△78
流動資産合計	636,925	607,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	237,812	231,239
土地	483,928	479,846
その他（純額）	10,832	12,536
有形固定資産合計	732,573	723,621
無形固定資産	10,068	9,878
投資その他の資産		
投資有価証券	43,140	36,192
敷金及び保証金	23,791	23,446
繰延税金資産	23,601	23,327
その他	4,250	4,397
貸倒引当金	△19	△22
投資その他の資産合計	94,764	87,341
固定資産合計	837,406	820,841
資産合計	1,474,331	1,428,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,081	22,264
短期借入金	160,896	166,075
コマーシャル・ペーパー	20,000	10,000
未払法人税等	10,099	2,720
預り金	29,288	19,854
繰延税金負債	—	16
賞与引当金	4,134	2,233
役員賞与引当金	175	160
事業整理損失引当金	113	86
災害損失引当金	2,607	1,645
その他	40,712	51,324
流動負債合計	311,109	276,380
固定負債		
社債	33,000	33,000
長期借入金	603,013	590,527
受入敷金保証金	55,359	55,368
繰延税金負債	83,640	72,846
再評価に係る繰延税金負債	5,033	4,370
退職給付引当金	15,849	15,828
転貸事業損失引当金	2,002	1,009
その他	7,956	8,929
固定負債合計	805,855	781,879
負債合計	1,116,965	1,058,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	115,574	115,615
資本剰余金	92,903	92,944
利益剰余金	91,497	100,403
自己株式	△2	△2
株主資本合計	299,973	308,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,076	△4,144
繰延ヘッジ損益	354	585
土地再評価差額金	5,961	6,625
為替換算調整勘定	△677	△735
その他の包括利益累計額合計	4,562	2,330
新株予約権	646	713
少数株主持分	52,183	58,144
純資産合計	357,365	370,149
負債純資産合計	1,474,331	1,428,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	243,539	261,790
営業原価	181,775	187,276
営業総利益	61,763	74,514
販売費及び一般管理費	42,473	44,394
営業利益	19,289	30,120
営業外収益		
受取利息	48	44
受取配当金	28	263
持分法による投資利益	16	5
その他	303	249
営業外収益合計	397	562
営業外費用		
支払利息	11,047	10,773
その他	1,290	840
営業外費用合計	12,337	11,614
経常利益	7,349	19,068
特別利益		
固定資産売却益	181	146
特別利益合計	181	146
特別損失		
営業エクイティ投資評価損	14,766	—
減損損失	768	—
投資有価証券評価損	—	262
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	683	—
特別損失合計	16,218	262
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,688	18,953
法人税、住民税及び事業税	6,836	7,330
法人税等調整額	△9,777	△8,032
法人税等合計	△2,941	△701
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,746	19,655
少数株主利益	1,648	5,988
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,395	13,666

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△5,746	19,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,104	△3,067
繰延ヘッジ損益	181	230
土地再評価差額金	△9	663
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△58
その他の包括利益合計	1,277	△2,231
四半期包括利益	△4,469	17,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,117	11,434
少数株主に係る四半期包括利益	1,647	5,989

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,688	18,953
減価償却費	9,398	10,141
持分法による投資損益(△は益)	△16	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△65	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	540	△20
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△33	△27
転貸事業損失引当金の増減額(△は減少)	△487	△993
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△962
受取利息及び受取配当金	△76	△307
支払利息	11,047	10,773
売上債権の増減額(△は増加)	6,518	3,831
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,400	△13,233
営業エクイティ投資の増減額(△は増加)	9,960	2,759
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,122	△20,816
預り金の増減額(△は減少)	△35,840	△9,433
その他	11,742	△491
小計	△46,524	158
利息及び配当金の受取額	72	550
利息の支払額	△10,977	△10,782
法人税等の支払額	△9,935	△14,722
営業活動によるキャッシュ・フロー	△67,364	△24,794
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△6,121	△22
投資有価証券の売却及び清算による収入	70	737
連結の範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出	△13,664	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による収入	2,169	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△34,236	△5,389
有形及び無形固定資産の売却による収入	674	4,474
貸付けによる支出	—	△3
貸付金の回収による収入	20	16
敷金及び保証金の差入による支出	△712	△1,326
敷金及び保証金の回収による収入	1,328	2,689
受入敷金保証金の返還による支出	△3,103	△3,195
受入敷金保証金の受入による収入	5,058	1,936
その他	△209	1,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,726	1,358

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	39,500	△5,100
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	20,000	△10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△83	△116
長期借入れによる収入	57,250	64,700
長期借入金の返済による支出	△55,464	△66,907
社債の発行による収入	9,937	—
社債の償還による支出	△180	—
株式の発行による収入	0	0
少数株主からの払込みによる収入	4	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,331	△4,760
少数株主への配当金の支払額	△42	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,590	△22,209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△48,500	△45,645
現金及び現金同等物の期首残高	89,334	82,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,834	36,420

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	ビル事業	資産運用 開発事業	仲介・販 売受託事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	96,549	67,335	46,141	21,331	231,358	12,181	243,539	—	243,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	427	3,296	371	776	4,872	820	5,693	△5,693	—
計	96,976	70,632	46,513	22,108	236,230	13,001	249,232	△5,693	243,539
セグメント利益又は損失(△)	△1,082	16,871	5,397	1,371	22,558	115	22,674	△3,384	19,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,384百万円には、セグメント間取引消去△22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,361百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	住宅事業	ビル事業	資産運用開発事業	仲介・販売受託事業	合計
減損損失	—	—	768	—	768

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	ビル事業	資産運用 開発事業	仲介・販 売受託事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上 高	120,194	74,171	36,728	19,274	250,369	11,421	261,790	—	261,790
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	434	2,899	221	7,522	11,077	586	11,663	△11,663	—
計	120,628	77,071	36,949	26,796	261,446	12,007	273,453	△11,663	261,790
セグメント利益	7,785	19,563	3,781	1,593	32,724	131	32,855	△2,735	30,120

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,735百万円には、セグメント間取引消去1,188百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,924百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。